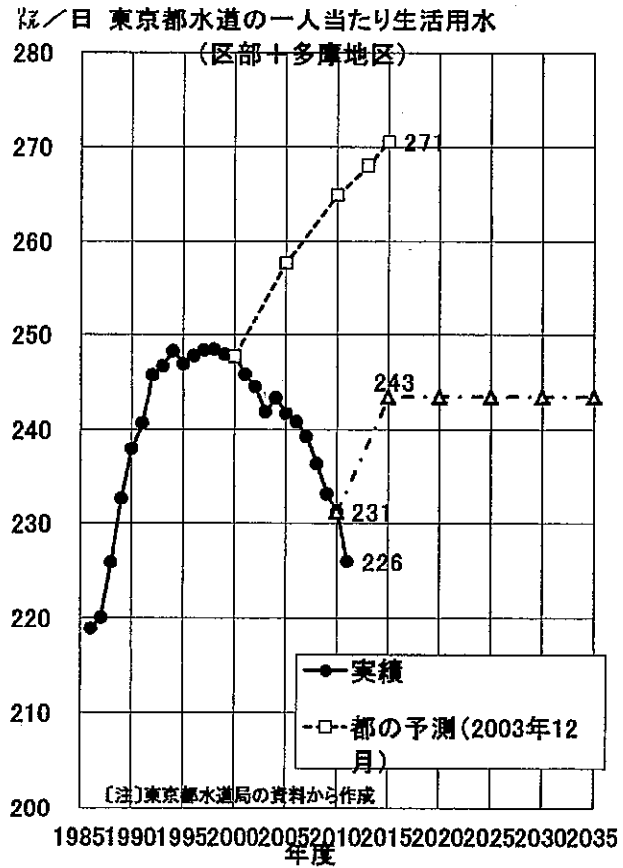
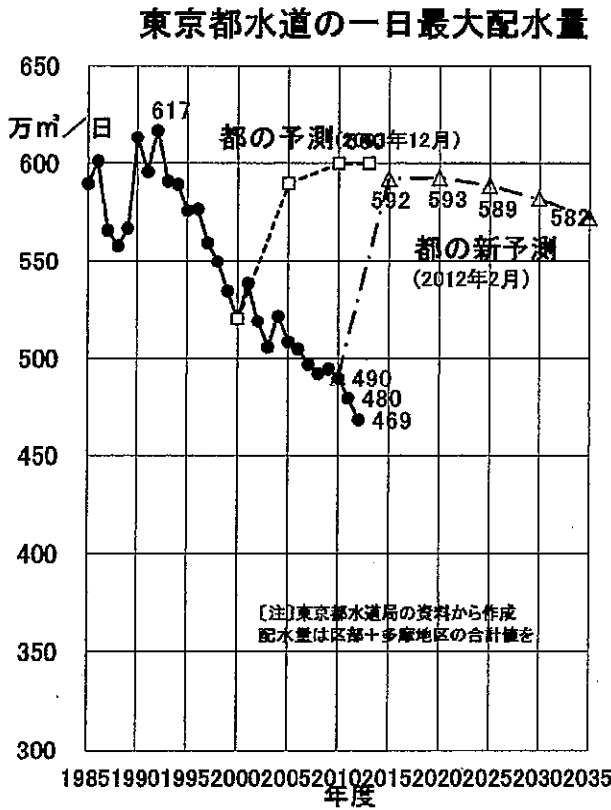


●東京におけるハッ場ダムの利水について

ハッ場ダムに東京が参画しているのは、洪水対策と同時に水道水源としてである。東京は今多くの水源をもっている。ハッ場ダムに名乗りを上げたころは、人口が急増し、使う水の量も増えていたので、新たなダムが必要だったかもしれない。でも今では使う水の量がずっと減少している。



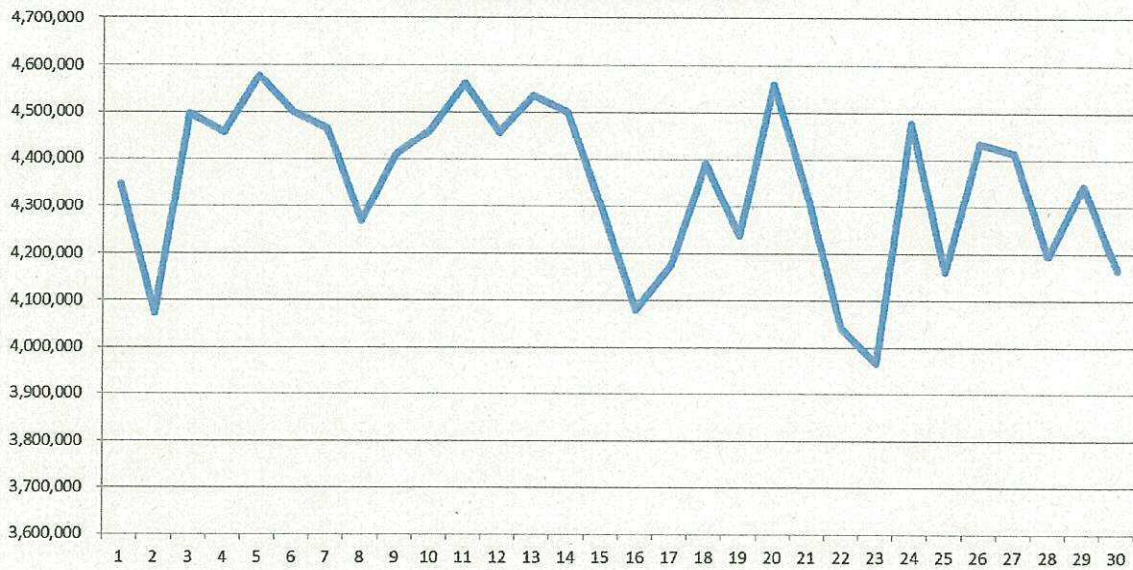
<2012年は「渇水年」>

利根川水系8ダムと東京都

	総貯水量 (万 m^3)	有効貯水量 (万 m^3)	夏季利水容量 (万 m^3)	東京都水利権 (万 m^3 /日)	9/11貯水 率(%)
矢木沢ダム	20430	17580	11550	34.6	6.2
奈良俣ダム	9000	8500	7200	17.9	37.4
藤原ダム	5249	3589	1469		88.6
相俣ダム	2500	2000	1060		29.7
菌原ダム	2031	1414	300		67.8
下久保ダム	13000	12000	8500	108.9	65.3
草木ダム	6050	5050	3050	49.1	35.4
渡良瀬遊水地	2640	2640	1220	4.4	93.4

2012年9月の渇水は、市民生活に影響なし。

区部及び29市町の配水量



区部+28市町 日配水量
2010年4月からは区部+29市町
万m³/日

